



IZUMO

日本グランプリシリーズ 出雲大会
吉岡隆徳記念 第73回出雲陸上競技大会開催要項

[競技会コード：19501821]

- 1 主催 一般財団法人島根陸上競技協会 出雲市
- 2 主管 出雲市陸上競技協会
- 3 後援 公益財団法人日本陸上競技連盟 出雲市教育委員会 山陰中央新報社
- 4 期日 2019年4月20日(土) 午前9時00分 競技開始予定
4月21日(日) 午前8時50分 競技開始予定
- 5 場所 島根県立浜山公園陸上競技場 [競技場コード：321010]
- 6 競技種目 *一般・高校・中学校のトラック競技の内、一般女子100m以外の種目は、1日目(20日 土)に予選を行う予定であるが、変更する場合もある。
◆は、1日目に決勝がある種目

| (1) 一般、高校 | | (2) 中学校 | | (3) 小学校 | |
|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 男子 | 女子 | 男子 | 女子 | 男子 | 女子 |
| 100m | 100m | 2年 100m | 2年 100m | 4年 100m | 4年 100m |
| 400m | ◆ 800m | 3年 100m | 3年 100m | 5年 100m | 5年 100m |
| ◆ 1500m | ◆ 3000m | 全 400m | ◆ 全 800m | 6年 100m | 6年 100m |
| 5000m | ◆ 100mH | ◆ 全 1500m | 全 1500m | 全 1000m | 全 600m |
| ◆ 110mH | 4x100mR | 全 3000m | ◆ 全 100mH | 全 4x100mR | 全 4x100mR |
| 4x100mR | ◆ 走高跳 | ◆ 全 110mH | 全 4x100mR | 全 走幅跳 | 全 走幅跳 |
| 4x400mR | ◆ 棒高跳 | 全 4x100mR | 全 走高跳 | | |
| ◆ 走高跳 | ◆ 走幅跳 | 全 走高跳 | ◆ 全 走幅跳 | | |
| ◆ 棒高跳 | ◆ 砲丸投 | 全 棒高跳 | 全 砲丸投 | | |
| ◆ 走幅跳 | ◆ 円盤投 | 全 走幅跳 | | | |
| ◆ 砲丸投 | ◆ やり投 | 全 砲丸投 | | | |
| ◆ 円盤投 | YOSHIOKA | | | | |
| ◆ やり投 | スプリント 100m | | | | |
| YOSHIOKA | YOSHIOKA | | | | |
| スプリント 100m | スプリント 300m | | | | |
| YOSHIOKA | | | | | |
| スプリント 300m | | | | | |
| 高校招待 5000m | | | | | |

※一般、大学、高校の投てき種目については、高校生は高校用の重さで行う。

- 7 参加資格 2019年度(公財)日本陸上競技連盟登録競技者であること。(小学生を除く)
YOSHIOKA スプリント 100m、300mについては、YOSHIOKA スプリント申込要領にある標準記録を突破している者。(別途申込)
高校招待 5000mについては、主催者が出場依頼をした各高校から数名ずつの選手を招待する。
全ての種目で島根県以外の選手の参加を認める。
- 8 出場制限 (1) 1人2種目以内(ただし、リレーは除く)
(2) 小学生は1校1種目3名以内、陸上教室も1種目3名以内とする。
中学生は1校1種目3名以内とする。

小中学生がクラブチームで個人種目に出場する場合は、必ず申込ファイルの小・中学生所属シートに所属学校名を記入すること。同一所属学校名からの参加が3名以内であれば、同一クラブから1種目4名以上の参加を認める。

高校、大学、高専は1校4名以内とする。ただし、一般男子1500m、5000m、一般女子3000m、高校生の投てき種目は無制限とする。

- (3) リレーはすべて1校・教室又は加盟団体（登録団体）単位とし、単位毎に1チームとする。
(4) 小学生のリレーについては、学校単位と陸上教室単位を同一レースとする。

- 9 申込方法 (1) 「(一財) 島根陸上競技協会」のウェブサイト (<http://www.shimariku.jp>) を開き、大会要項の項目を選択、「出雲陸上申込」(Excel形式) をダウンロードしてください。

※(一財) 島根陸上競技協会でも検索していただいても結構です。

- (2) E-mailでの申し込みをお願いします。

ファイル名は学校・所属名で保存をお願いします。(例 ○○中学校 ○○小学校)

※メール送信後、24時間が経過しても申込ファイル受理の返信がない場合は、下記の間合せ先まで連絡してください。

| |
|---|
| 問合せ先 出雲市陸上競技協会 大会事務局 白根 誠治 090-2861-7869 |
|---|

10 申込先および申込期限

◎YOSHIOKA スプリント以外の種目

E-mail tf3m56s@icv.ne.jp 担当 白根

申込期限 平成31年4月8日(月)

※高校招待5000mについてもエントリーファイルによる申込が必要です。

◎YOSHIOKA スプリント(100m、300m)

申込期限 平成31年3月15日(金) (別要項参照)

11 参加料

一般、大学、高校は個人種目、1種目毎に1000円とし、リレーについては1チーム1500円とする。ただし、高校招待5000mについては、無料とする。

中学生は個人種目、1種目毎に500円とする。リレーについては1チーム800円とする。
小学生は個人種目、1種目毎に300円とする。リレーについては1チーム500円とする。

※参加料は必ず申込みと同時に下記口座に振り込むか現金書留で納入すること。

振込先 銀行名 山陰合同銀行 北神立出張所

口座番号 (普通) 3623261

名義 出雲市陸上競技協会 事務局長 白根 誠治

郵送先 〒693-0021 出雲市塩冶町399-18 白根 誠治 宛

- 12 表彰 各種目とも1位～3位まで表彰する。

13 選手並びに監督に対する注意事項

(1) 競技は2019年度(公財)日本陸上競技連盟の競技規則により、日本陸連広告規程を適用する。

(2) ナンバーカードはユニホームの胸背部に縫い付けるか、又は安全ピンでつけること。

①一般・大学・高校のナンバーは平成31年度の登録ナンバーを、同じく中学校は中体連制定の各中学校のナンバーを使用するので、申込書の登録ナンバーの欄に記入すること。従って、ナンバーカードは各自で用意すること。

②小学生のナンバーカードは主催者が用意し貸与する。従って、申込書の登録ナンバーは空欄にすること。また、使用したナンバーカードは、競技終了後大会本部へ必ず返却すること。

(3) 全天候競技場であるため、スパイクピンは平行ピンを使用し、ピンは9mm以下とする。

ただし、走高跳、やり投げの競技は12mm以下とする。

- (4) スタートの合図は「On Your Marks」「Set」のイングリッシュコールとする。
不正スタート1回で失格とする。ただし、小学生については、同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。
- (5) 走高跳、棒高跳最初のバーの高さは下記の通りとする。

| 走高跳 | 一般 | | 中学校 | | 棒高跳 | 一般 | | 中学校 | |
|-----|----|------|------|----|------|------|------|------|------|
| | 男子 | 1m60 | 1m35 | 女子 | | 1m25 | 1m15 | 男子 | 3m00 |
| | 男子 | 1m60 | 1m35 | 女子 | 1m25 | 1m15 | 男子 | 3m00 | 2m20 |
| | 女子 | 1m25 | 1m15 | | | | 女子 | 2m00 | |

- (6) 4月20日(土) 8時50分より開始式を行う予定。
- (7) 競技中の事故または傷病については、応急処置のみ行う。
- (8) 自己都合による申し込み後のキャンセルは受け付けない。また、参加料の返金を行わない。

14 その他

- (1) 個人情報の取り扱いについて及び肖像利用に関して
主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を順守し、個人情報を取り扱う。
なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。大会の映像、写真、記事、個人記録等は、主催者、共催者、日本陸連及び主催者、共催者、日本陸連が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- (2) ドーピングコントロールについて
国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。
なお、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。
また、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。
- (3) TUE申請について
禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。
- (4) 18歳未満競技者の親権者からのドーピング検査に対する同意書の取得について
世界アンチ・ドーピング規程、同国際基準、及び日本アンチ・ドーピング規程により、18歳未満の競技者が競技会に参加する際、親権者からドーピング検査に関する同意書を取得することが必要となる。
- ① 本大会に参加する18歳未満の競技者は、同意書を熟読し、署名、捺印の上、同意書の原本を大会に持参し、携帯すること。同意書は <http://www.jaaf.or.jp/pdf/doisho.pdf> からダウンロード出来る。
 - ② 18歳未満の競技者はドーピング検査に指名された時に、原本をドーピング検査室にてNFR（陸連医事代表）に提出すること。提出は1回のみで、同意書の提出後に再びドーピング検査に指名された場合は、すでに原本を提出済みである事をNFRに申し出ること。会場において、原本の提出がなくとも、検査は行われるが、検査後7日以内に日本陸連事務局に原本を提出すること。
- ※ (2)～(4)については、YOSHIOKA スプリント出場者のみに適用する。